

図書館へいこう!

2018上半期 芥川賞・直木賞 そろえています!

芥川賞

『送り火』 高橋 弘希著
東京から山間の町に引越した中学3年生の歩。級友とも、うまくやってきたはずだった。あの夏、河へ火を流す日までは…。



直木賞

『ファーストラヴ』 島本 理生 / 著
多摩川沿いを血まみれで歩いていた女子大生・環菜。彼女は、父親を、その勤務先である美術学校で刺殺したとして逮捕されるが…。裁判を通じて明らかにされる家族の秘密とは?



話題の新作本

『大人は泣かないと思っていた』

寺地 はるな / 著

時田翼32歳、農協勤務。大酒呑みで不機嫌な父と二人暮らしで、趣味は休日の菓子作り。そんな翼の日常が、庭に現れた“ゆず泥棒”との遭遇で動き出す――。



『ツキマトウ 警視庁ストーカー対策室ゼロ係』

真梨 幸子 / 著

ふとした日常の違和感、感情の掛け違いから、妄執に取り憑かれていく男女たち。詐欺、ストーカー、リベンジポルノ、盗撮…。「愛」という大義の下の暴力をあぶり出す。



『スケルトン・キー』 道尾 秀介 / 著

19歳の僕は、週刊誌記者の危険な仕事を請け負っている。心拍数を上げてなんとか“まとも”でいるために…。予測不能の展開が待ち受けるブラックサスペンス。



『咳をしても一人と一匹』

群 ようこ / 著

御年19歳の“しい”は、ご近所最強のメスネコとして、オスネコと渡り合っていた。老猫との生活を、時に辛辣に、時にユーモラスに描いたエッセイ。



『切なくそして幸せな、 タピオカの夢』

吉本 ばなな / 著

人生は一度だけ。なるべく幸せでいた方がいい。なるべく愛する人と、おいしく食べた方がいい。著者本人の体験を元に描かれた傑作エッセイ。



『大ぼら吹き城』 矢野 隆 / 著

城下町で初めてみた美しい女性に求婚し、戦場では命を惜しみ逃げ回る。信長からは、禿げ鼠と誹られる男。嫁も出世も、城すらも法螺で搦んだ男は、なぜ強者や信長をも惹きつけたのか。



今月のBEST本 (7月の貸出回数上位本)

『スタンドアップ』 五十嵐 貴久 / 著

警視庁捜査一課刑事の宇田川の同期、特殊班の女刑事が音信不通となった。かつて公安にいた同期と同じように…。



『ポストカプセル』 折原 一 / 著

ラブレターが、遺書が、脅迫状が、礼状が、文学賞の受賞通知が、15年遅れで届いたら? 心温まるはずの善意の企画の裏に、驚愕の真相が…。騙りの名手によるミステリー。

9・10月のイベント情報

- 9/8 14:00～ おはなし会
- 9/15 14:00～ おはなし会
- 9/22 14:00～ マスクプレイ・オペレッタ
「ふしぎなきき耳ずきん」
- 9/29 14:00～ おはなし会
- 10/6 14:00～ おはなし会



劇団バクの
マスクプレイ・オペレッタ
「ふしぎなきき耳ずきん」
全国で活躍中の劇団バクがやって
くる! 等身大の人形たちが歌い踊
る迫力いっぱいの舞台です。